



一般社団法人 札幌 YWCA
〒060-0807
札幌市北区北7条西6丁目
北海道クリスチャンセンター内
Tel & Fax: 011-728-8090
E-mail: sapporo@ywca.or.jp

聖書を学ぶ会 1月

2017年1月17日(火) 14:00~ @Y's Café
ルカによる福音書第9章
雨貝 行麿牧師(北海道クリスチャンセンター館長)



弟子たちは、イエスさまから「日々、自分の負うべきこと」を示されました。わたしどもも、与えられた生涯において負うべきことがありますね。「負う」とは「責任」とも言えます。それを神さまが与えることとして、逃げないで、安全な道ではなくても、それが神さまから選ばれて与えられた道であるならばしっかりと背負いなさい。神さまに「お応え」なさい、です。わたしどもが見ていても、安逸で、しかも人間としてだらしのないことが多々あります。ほんとうに恥ずかしいことが、しかもたくさんありそうですね。心したいものです。

さてここでモーセ「律法」とエリヤ「預言」とが、イエスさまのエルサレムでの最後のできごとを語られました。新しい時です。

そんなときに弟子たちは、イエスさまが「神々しいまでに輝く瞬間」出会いました。昔から言い伝えられたモーセとエリヤの登場です。言い伝えは真実でした。その真実の証が示されました。ですが弟子たちには受け止めかねるできごとでした。

イエス様は祈ります。ルカは つねづねイエスさまが、大事な時には「祈る」ことを語って聞かせています。その祈りのとき、弟子たちは眠ってしまいました。新共同訳では「眠いけれど寝ないで我慢した、と訳していますがそれは本文ではありません。ペテロは、はっきりと目覚めます。するとそこに2人に人が見えた。ペテロは、思わず先走って「あなたとモーセとエリヤのために天幕を作りましょう」。祭壇をしつらえ、祈りの場を作る、と叫びました。しかし事態は、彼らが眠っている間に先に進捗します。律法と預言から、直々に、イエスさまに到達しているのです。ひとが天幕をつくるよりも、「天から」声が届いたのです。「これは私の子、選ばれたもの、これに聞きなさい。」。そこにイエスさまだけがいました。弟子たちにとっては、いい伝えを超えた、事態に直面しました。衝撃的でした。

昔からの言い伝え、そのことが目の前におられるイエスさまに実現する、このことは、あまりにも近いが故でしょうか、弟子たちにとっては理解不能な現実です。何とかして理解しようとして、イエスさまをめぐるいままでのことどもを自分たちの知識と、そして経験から理解しようとして飲み込み、反芻していました。繰り返して、弟子たちはそのまま飲み込んで、胃の中からおしだしてもういちど味わってみようとしています。

弟子たちは、まだイエスさまのことが分からなくなった。

でもわたしどもはどうでしたか。初めは、イエスさまは素晴らしい方だ、よいお話で励ましてくださる。でもその方がご自身から「終わりはエルサレムで十字架にかかり、死んで葬られ、三日目によみがえる。」わかりませんでしたね。

わたしも、若い時、教会に導かれ、信徒の方々に出会い、恵まれました。わたしの新しい出発でした。

いま、なお新たに、イエスさまが、命を懸けて、わたしどもの罪のために十字架におかかりになったことが何物にも代えがたい恵みであること、それがわかります。

2017年、主に恵みの年です。代えがたい慈しみにこころを新たにしたいとおもいます。